

ナス新品種「佐賀N4号」を開発しました

ナスは佐城地区を中心に栽培される佐賀県の主要な野菜品目です。当センターでは、平成26年度から高収量かつ高品質で、作業性に優れたナス新品種の開発に取り組み、令和6年2月に品種登録を出願しました（同年5月出願公表）。

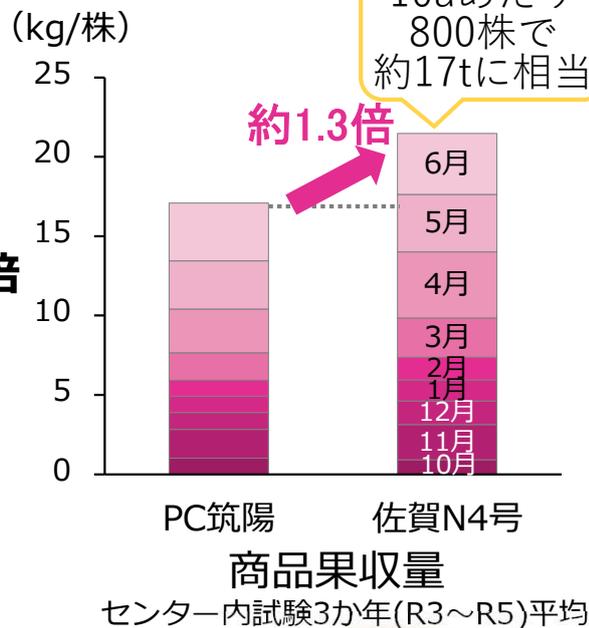
「佐賀N4号」の特長

①高収量

- ・草勢が強く、生育が早い
- ・商品果収量は「PC筑陽」と比べて約1.3倍

②高品質

- ・細果や曲がり果が少なく、上物率が高い
- ・首が太く、冬場もボリュームがある
- ・日焼け果やつやなし果が出にくい
- ・果肉が緻密で、煮物や揚げ物に適する



「佐賀N4号」

品種名	収穫調査			果実調査		
	上物率 (%)	細果 (%)	曲がり果 (%)	首径 (cm)	尻径 (cm)	一果重 (g)
佐賀N4号	33.9	0.8	45.7	4.3	5.1	175.0
PC筑陽	25.4	5.9	59.9	3.6	4.8	147.0

注1) 収穫期間: 2023年10月~2024年6月28日

2) 果実調査: 毎月1回、9果/月

②作業性に優れる

- ・単為結果性^{*}で着果促進剤が不要
※受粉せずに果実が大きくなる性質
- ・とげなし性で快適に作業でき果実を傷つけない

今後の計画

令和6年度からは「佐賀N4号」に適した栽培技術の確立に取り組みます。また、現地27戸で計3,045株が栽培され、現地の情報を収集・分析するとともに、市場調査を実施します。